ピー・エス・シー

「製本管理システム」導入

最適仕様にカスタマイズ

導入後もリモートで随時バージョンアップ

ノリトジックを使用した特殊折りの製本会社である㈱シュウエイ（本社／埼玉県川口市、中村匡秀社長）は昨夏、印刷・製本業界に特化した業務管理システムを提供するピー・エス・シー㈱の「製本管理システム」を導入。同社では、自社向けにカスタマイズされたシステムを導入したが、導入後も要望があれば随時改善を依頼し、リモートによりスピーディーにバージョンアップ。その結果、従来のシステムからもストレスなく移行し、事務処理作業の大幅な効率化を実現している。

シュウエイ

同社は特殊折り、中綴じ、ノリトジックシステム（糊綴じ）を活用した特殊折りによるカタログ、パンフレットなどを得意とする製本会社。抜き加工に中綴じや変則的な折りなどを組み合わせて加工し、さらにそれをノリトジックシステムで加工したものなど、様々な加工に対応する技術と設備を有している。

中村　会長

中村　社長

現在、特殊折りによる製本物は全体の2～3割。中村社長は「当社は品質の高さを追求するとともに、クリエイティビティの強化により、クライアントの要望を先取りできる『創注型営業』を目指している」と、目を惹くカタログやパンフレットの提案で今後も差別化を図っていく考えだ。

一方、同社はハイデル製品を中心とした最新鋭の設備により、品質と生産性にも自信を持っている。中村栄治会長は、「当社では小～大ロットまで1日に20～30ジョブを生産しているが、隣接する3つの生産拠点のそれぞれに特色を持たせ、生産性の効率化を図っている」と説明する。

そんな同社が、ピー・エス・シーの「製本管理システム」の存在を知ったのは一昨年のIGAS2015でのこと。同社ではそれまで一般的な業務管理システムを使用していたが、使い続けるには改善したい点がいくつかあったようだ。

中村社長は「ブースで相談したところ、当社の課題を解決できるということで導入に向けて動き始めた。印刷・製本業界に特化したシステム会社であるため、一般のシステム会社とは違って専門知識が豊富であることにも信頼感を持てた」と振り返る。

事務処理作業の業務効率が大幅に向上した

そして同社は、自社向けにカスタマイズされたオーダーメイドの「製本管理システム」を昨年夏に導入。従来のシステムからの移行作業もスムーズに進み、これまでの一般的な業務管理システムにはなかった製本業務の細かい部門までの管理が可能になった。

「これまでのシステムは、データの一元管理に対応していなかったため、同一データをエクセルやファイルメーカーなどで何回も打ち込んでいた。製本管理システムの導入により、このムダな作業を解消でき、事務処理作業の大幅な効率化を実現した」（中村社長）

業務効率が格段に向上したことで、これまでは3人で行っていた事務処理作業を2人で行うことも可能になったようだ。

また、中村社長が最も評価している点は「システム導入後」のリモートによるバージョンアップへの対応である。

「自社用にカスタマイズされたシステムであっても、使っているうちにさらに改善したい部分はでてくるもの。ピー・エス・シー社はこのような要望に対して、リモートにより即座に対応してくれる」（中村社長）

このため、同社は常に自社用に最適化された最新バージョンの「製本管理システム」を使用することが可能になり、今後も同社にとって頼れるシステムとなりそうだ。

今後の抱負について中村社長は、「品質やスピード、仕事の内容など、クライアントの要望が多様化する中、当社は今後も積極的な設備投資と人材確保、創注型営業によりニーズの変化に対応していく」と話している。

特殊折りの提案で様々なクライアントニーズに対応